

日本共産党 暮らし応援!3つの条例案提出!



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています
日本共産党荒川区議員
小林行男
 〇意見をお寄せください

区政ニュース

NO. 848
 2022. 2. 20
 区議会控室
 TEL 3802-4627
 FAX 3806-9246
 Email: arajcp@tcn-catv.ne.jp
 ホームページ
<http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpa/>
 東尾久相談室
 東尾久2-37-3
 TEL・FAX
 3895-0508

2月14日から区議会2月会議がはじまりました。日本共産党区議団は、コロナ禍が長引く中で疲弊する地域経済の主役・中小業者応援、子育て世代応援を議員提出議権行使して3つの条例案を提案①中小業者への事業継続支援②ひとり親家庭への家賃補助する条例③就学援助の対象拡大をする条例を提出しました。他会派にも呼び掛けて実現を迫りたい。

① 中小企業事業継続支援補助交付条例(案)

コロナ禍で経営が困難になっている区内中小業者で国の事業復活支援金に該当しない売り上げ減少幅10%以上30%未満の方に30万円を上限に補助を行うものです。



② ひとり親家庭の住宅費の助成に関する条例(案)

公営住宅入居基準の所得で、公営住宅に申し込んだが落選したひとり親世帯に月額3万円の家賃助成を行うものです。



③ 就学援助の実施に関する条例(案)

就学援助の収入基準を生活保護基準の1・2倍から1・5倍引き上げて、子育て世代における教育費の重い負担を軽減し、コロナ禍における緊急対策として実施するものです。



ワクチン 64歳以下も接種券が届き次第、予約可能



区は3回目接種について、65歳以上の高齢者等リスクの高い方・介護従事者などは「2回目から6か月経過後」、18~64歳は「7か月経過後」としていましたが、集団接種会場に空きがあることからモデルナ製については「6か月経過後」に前倒し、さらにファイザー製も前倒しを決定。現在、昨年8月に2回目接種の方へ接種券を発送中、9月の方は22日(火)に発送予定。接種券が届けば順次予約可能です。

荒川区へのファイザー製の供給は3月いっぱい終了。そのため、ファイザー製集団接種会場はサンパール1か所のみ。今後、18歳以上の集団接種はモデルナがメインになります。区民への丁寧な説明と周知で、接種をすすめることが必要です。

5~11歳の子どもへは16日(水)に接種券を発送、3月から接種を実施予定。接種方法は「小児科など医療機関の個別接種と集団接種会場を組み合わせる」で準備中。幼児の接種は保護者の心配の声もあり、慎重な実施と未接種の子どもへ差別が起らないよう対応を求めたい。

【荒川区へのワクチン供給量】

	3月まで	4月以降	計
ファイザー	8万3,070回分	なし	8万3,070回分
モデルナ	8万2,800回分	6,900回分	8万9,700回分

旧女子医大東医療センターを コロナ臨時病床に活用



工事関係者から「旧女子医大の改修工事が中断している」との情報寄せられる。真相を問い合わせる最中にテレビ報道がありました。区によると東京都と始められた最中に首相・知事会見が行われたとのこと。議会も地元も全く知りませんでした。緊急事態の中での活用は必要だと思います。旧東病棟に100~150床を確保し、高齢者施設から患者や透析患者の治療などを行うとしています。すでに移転でベットなど備品はありません。必要な医療スタッフも都と国が手配し、2月中には稼働させたいようです。新病院開設予定は2023年1月とする当初予定は変えないように、最長でも臨時病棟の使用は5月中旬までと考えているようです。また、現状できる工事は進めるとのことです。



法律相談会



毎月第3火曜日(午後6時から)北千住法律事務所
 の弁護士による法律相談会
 をおこなっています。
 できるだけ事前にご連絡く
 ださい。

3月の相談会は 3月15日(火)

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所にて、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

国民健康保険料・後期高齢者医療保険料値上げストップを!

	2022年度予測	前年比	
23区医療費総額	8,035億円	↑163億円	↑2.1%
1人当たり医療費	300,518円	↑15,268円	↑5.4%
1人当たり保険料	194,486円	↑14,776円	↑6.1%
激変緩和後の 1人当たり保険料	172,155円	↑14,804円	↑9.4%

【昨年11月29日に示された予測】

これをベースにした、一人当たり保険料は16万7042円と今年度比で9.1%（6.2%）の大幅な値上げです。特別区長会等も大幅値上げを抑えるための東京都に財政措置を求めたいと試算しておさえた。

昨年十一月二十九日の国保運営委員会ですと示されたもの（左上）と比べてみると医療給付費額を8035億円から7865億円と低く見込んでいます。ただし被保険者数が今年度比で8万6000人減少し、267万4000人となることから今年度比の納付金総額や一人当たりの納付金額は増加に なっています。



2月都議会・区議会で審議へ

東京都は二月九日に国民健康保険運営協議会を開催し、年明けに決定した来年度の国保

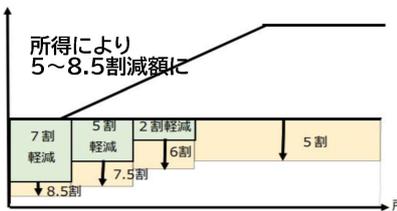
の区市町村に課す納付金の決定額を明らかにしました。

後期高齢者医療も高齢者の増加、医療費給付も増加と推計されています。国の政令通りにした場合は一人当たり保険料は1万7400円の値上げです。10月からの窓口2割負担もあり、コロナ禍で暮らしが大変な中での値上げは、区民の暮らしをさらに苦しめます。命を守る必要な医療と暮らし支援を、国も都も取り組むべきです。これ以上の値上げはストップさせましょう。

未就学児・5割軽減に

4月から未就学児（6才以下）の国保料・均等割保険料は5割軽減に。

※現在、7割軽減対象の未就学児の場合、残りの3割の半分を減額して、8.5割軽減に。現在5割軽減では、7.5割減額に。（右図参照）



「同性パートナーシップ制度」パブリックコメントを実施中!

今年4月から荒川区で実施予定の「同性パートナーシップ制度」について、パブリックコメントを実施中です。25日(金)まで。



素案は、アクト21、区役所の総務企画課（4階）・情報提供コーナー（地下1階）か、区ホームページで閲覧できます。

意見の提出は①区ホームページ②メール③FAX（03-3809-2891）④郵送（〒116-0012荒川区東尾久5-9-3）⑤持参（アクト21へ）の5通り。

「同性パートナーシップ制度」は、同性のカップルを婚姻相当とみなし、パートナーとして届け出たことを認定する制度。都内では12市区で実施、北区が来年度から実施予定です。東京都も「2022年度中に導入」する方針を明らかにしています。パブリックコメントの結果は4月の区議会の委員会に報告、ご意見をふまえて最終的に制度が策定されます。

新型ウイルス感染者急増

第5波のピーク時より5.3倍に
ひと月で2年間の累計陽性者数が
2倍の14000人超える!

年明け7日に5,782名だった区内陽性者の累計が、14,000人(都2月15日現在発表)を突破。新型コロナ感染が始まって2年間の累計陽性者数が、ひと月で一気に倍になるという驚異的な感染力です。

自宅療養者も2,500名を超え、検査も体調管理もほとんど本人と家族任せの状況です。

現在、まだ高止まりが続いています。ワクチンの3回目の接種のスピーディな接種と変わらぬ感染防止に気を付けたいものです。



○「沖縄戦の戦没者の遺骨等を含む可能性のある土砂を埋め立てに使用しないように求める意見書の採択について」の委員会での審査が行われました。沖縄南部地域には「ガマ」という自然の洞窟に避難や集団自決、遺体の仮埋葬などが行われた地域です。遺骨を遺族に引き渡すことは「国の責務」です。残念ながら委員会では不採択に。

